

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和07年03月14日

計画の名称	京奈和自転車道とピワイチを基軸とした歴史・文化を体感する自転車周遊による広域観光活性化計画（重点）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	奈良県											
計画の目標	滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県では、関西広域地方計画の広域連携プロジェクトである「3-3 歴史・文化・おもてなしプロジェクト」を推進するため、4府県の豊富で個性豊かな歴史や伝統等の文化資産を保全又は創出し、観光資源への活用や面としての地域づくり、世界遺産への登録などの各種取組と合わせて、地域資源を活用した多様で世界の人々を魅了する広域サイクリングルートの形成に向けて必要な基盤整備事業を実施することで、自転車による文化観光やロングステイなどのニューツーリズムの創出・普及を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	815	A	815	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1	R5	R7
1	【滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】滋賀県大津甲賀地域、京都府山城地域、奈良県北西部、和歌山県紀北地域における観光入込客数を6,624万人（R1）から7,617万人（R7）に増加（993万人（15.0%）の増加） 【滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県 共通目標】観光入込客数を6,624万人（R1）から7,617万人（R7）に増加（993万人（15.0%）の増加） （観光入込客数の増加割合）=（評価時点の年間観光入込客数 - R1の年間観光入込客数） / （R1の年間観光入込客数）	6624万人	7255万人	7617万人
2	【奈良県 単独目標】奈良県北西部（奈良市、生駒市、山添村、大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町）における観光入込客数を2,251万人（R1）から2,617万人（R7）に増加（366万人（16.3%）の増加） 【奈良県 単独目標】奈良県北西部における観光入込客数を2,251万人（R1）から2,617万人（R7）に増加（366万人（16.3%）の増加） （観光入込客数の増加割合）=（評価時点の年間観光入込客数 - R1の年間観光入込客数） / （R1の年間観光入込客数）	2251万人	2468万人	2617万人
3	【奈良県 単独目標】世界遺産周遊サイクリングルートの自転車交通量490台 / 日（R1）から570台 / 日（R7）に増加（80台 / 日（16.3%）の増加） 【奈良県 単独目標】自転車交通量490台 / 日（R1）から570台 / 日（R7）に増加（80台 / 日（16.3%）の増加） （自転車交通量の増加割合）=（評価時点の休日自転車交通量 - R1の休日自転車交通量） / （R1の休日自転車交通量）	490台 / 日	537台 / 日	570台 / 日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、14%となる。 その他事項については整備計画関連事項に記載。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-001	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	交通安 全	世界遺産周遊サイクルル ート整備	世界遺産周遊サイクルルート 整備(路面表示、案内誘導サ イン整備等)L=49km	奈良市ほか						300		-	
		市区町村名:奈良市ほかとは、奈良市、大和郡山市、斑鳩町、安堵町、河合町、広陵町、大和高田市、橿原市、明日香村、桜井市、天理市。																		
	A11-002	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	改築	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(中和工区)	橋梁上部工、自転車道整備工 L=0.4km	三宅町							315		-
	A11-003	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	交通安 全	(一)大和青垣吉野川自 転車道線(全線)	交通安全対策 L=75km	奈良市ほか							20		-
		市区町村名:奈良市ほかとは、奈良市、大和郡山市、川西町、三宅町、広陵町、大和高田市、葛城市、御所市、大淀町、五條市。																		
A11-004	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	修繕	(一)奈良西の京斑鳩自 転車道線 ほか2路線	舗装・防護柵修繕 L=73km	奈良市ほか							80		-	
	市区町村名:奈良市ほかとは、奈良市、大和郡山市、斑鳩町、安堵町、河合町、広陵町、川西町、三宅町、大和高田市、田原本町、橿原市、明日香村。																			
A11-005	提案	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	支援事 業	自転車案内標識整備事業	サイン整備等	全市町村							20		-	
A11-006	提案	一般	奈良県	直接	奈良県	都道府 県道	推進事 業	自転車活用推進事業	自転車利用環境の整備、広報 ・PRの実施、自転車活用推進 会議の開催等	全市町村							80		-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
											小計						815			
											合計						815			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
奈良県県土マネジメント部道路マネジメント課にて、中間評価を実施	令和7年2月
	公表の方法
	奈良県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>大和青垣吉野川自転車道線（中和工区）の自転車道整備や広域的な周遊観光の促進に資する情報発信の実施により、安全性や利便性の向上など一定の効果発現があったと推察される。また、観光入込客数について、新型コロナウイルス感染症の影響が残っているため、中間目標値の達成には至らなかったが、施設利用の促進や観光交流の活性化など一定の効果発現があったと推察される。</p> <p>【交付対象事業の効果の発現状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A11-002：京奈和自転車道の自転車道整備等を行った結果、走行安全性の向上が図られた。[事業延長L=400m 部分供用L=340m]</li> <li>・A11-003：京奈和自転車道において、防護柵の更新を行った結果、安全性の向上が図られた。[事業延長L=75km 部分供用L=4.5km]</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
事業中の要素事業については、計画期間内の完成に向けて事業進捗を図り、広域サイクリングルート形成により拠点施設における広域的特定活動と一体となった事業効果の早期発現を目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県における観光入込客数		
	中間目標値	7255万人	中間目標値に対して1,425万人（19.6%）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられる。他方、基幹事業の一部完成により、施設利用の促進や観光交流の活性化など一定の効果発現があったと推察される。【滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県】R5実績値：5,830万人 出典：「奈良県観光客動態調査報告書（令和5年）」他
中間実績値	5830万人		
2	奈良県における観光入込客数		
	中間目標値	2468万人	中間目標値に対して405万人（16.4%）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられる。他方、基幹事業の一部完成により、施設利用の促進や観光交流の活性化など一定の効果発現があったと推察される。【奈良県】R5実績値：2,063万人 出典：「奈良県観光客動態調査報告書（令和5年）」
中間実績値	2063万人		
3	世界遺産周遊サイクルルートの自転車交通量		
	中間目標値	537台 / 日	中間目標値に対して128台 / 日（23.8%）の減少となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響により人流が抑制されたことが考えられる。他方、基幹事業の一部完成により、施設利用の促進や観光交流の活性化など一定の効果発現があったと推察される。【奈良県】R5実績値：409台（現地調査）
中間実績値	409台 / 日		